



# ノーマルフロントフォークディスクブレーキキット

## 取扱説明書

商品番号 : 06 - 08 - 1561  
適応車種 : モンキー、ゴリラ、モンキーBAJA  
フレーム番号 : Z50J 1300017 ~ 1510400  
                  : Z50J 1600008 ~  
                  : AB27 1000001 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

### ～特徴～

パワーアップされたエンジンには強力なストッピングパワーが必要となります。従ってノーマルブレーキでは容量不足となり、より強力なディスクブレーキが必要とされます。しかもノーマルフロントフォーク専用キットの為、ノーマルのフォルムを崩すことなく仕上げる事ができ、ホイールスペーサーを使用する事でノーマルホイールにも対応出来るようにしました。

### ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。  
当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。  
当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。  
補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求めの販売店にお問い合わせ下さい。  
当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の弊社製品が必要です。

弊社製フロントブレーキマスターシリンダー

弊社製フロントブレーキホースキット(06 08 2032)

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、純正スロットルハウジング(ブレーキレバー一体式)を取り外す必要がありますので、弊社製ハイスロットルキット若しくはホンダ純正部品が必要です。

弊社製品

弊社製ハイスロットルキット各種

モンキー(FI)の場合、ケーブル無しセット(09 02 0223)をご使用下さい。

ホンダ純正部品

スロットルハウジング(1個) (53168-166-000)

スロットルハウジング(1個) (53167-GE4-000)

パンスクリュー 5×22(2個)(93500-05022-0G)

純正キャブレター使用時

フレームNO. Z50J-1300017~1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

遠心クラッチ車

弊社製コンビネーションスイッチASSY.

マニュアルクラッチ車

弊社製クラッチレバー

詳しくは、弊社パーツカタログ又はホームページをご参照下さい。

<http://www.takegawa.co.jp>

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ブレーキフルードは、なるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行ってください。(手荒れの原因となります。)
- ・ブレーキフルードは、塗装面・樹脂部分・ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いを行ってください。(部品の損傷・劣化の原因となります。)



# 警告

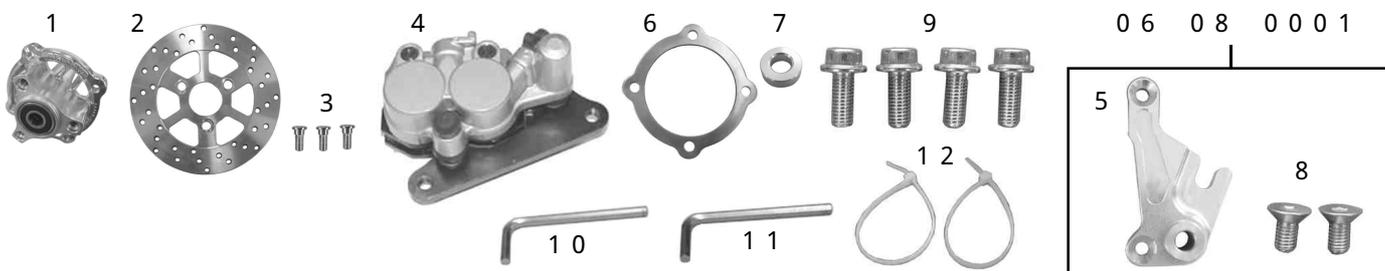
この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ・ブレーキ液は指定のブレーキ液を使用。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。)
- ・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合は、ブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・ブレーキの取り付け作業については、熟練したメカニックに依頼し専用の設備・工具のある工場等で行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。  
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。  
この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## ～商品内容～



番号	部品名	数量	リペア品番	入数	番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	フロントホイールハブCOMP.	1	44604 181 T00 C	1	7	カラー	1	44311 181 T00	1
2	ディスクローター(150mm)	1	45223 181 T50	1	8	フラットヘッドキャップスクリュー M8X16	2	00 00 0239	4
3	ディスクボルト	3	90105 165 T00	1	9	フランジキャップスクリュー M8X20	4	00 00 0238	4
4	フロントブレーキキャリパーASSY.	1	06 08 115	1	10	Lレンチ 5mm	1		
5	キャリパーブラケット	1	06 08 0001	1SET	11	Lレンチ 6mm	1		
6	ホイールスペーサー 3mm	1	06 09 1305	1	12	タイラップ 200mm	2	00 00 0179	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

## ～取り付け要領～

1. フロントアップスタンド及びメンテナンススタンド等でフロントタイヤが浮き上がる状態にして下さい。

△警告：必ず水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。

2. アクスルナットを取り外しアクスルシャフトを取り外して下さい。  
この時、フロントブレーキワイヤー及びスピードメーターケーブルも取り外して下さい。



3. フロントホイールからフロントホイールハブを取り外して下さい。



4. キット内のフロントホイールハブCOMP. にディスクローターを取り付け、ディスクボルトにネジロック剤を塗布してボルトを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：25N・m(2.5kgf・m)



5. フロントホイールのエアバルブ側が、フロントホイールハブCOMP. のディスク側と逆になる様に、フロントホイールハブCOMP. をフランジキャップスクリューM8×20にて仮締めして下さい。

△注意：方向性のあるタイヤをご使用の場合は、タイヤを逆方向に取り付け直し、回転方向を確認して下さい。

エアバルブ



ノーマルホイール使用時

フロントホイールハブCOMP. とホイールの間にホイールスペーサーを挟み、フランジキャップスクリューM8×20にて仮締めして下さい。



ホイール

フロントホイールハブCOMP.

スペーサー

弊社製アルミホイール使用時

ホイールスペーサーは使用せず、アルミホイールキット内のフランジキャップスクリューM8×18にて仮締めして下さい。

6. ハンドルからフロントブレーキレバーASSY.を取り外し、別売りフロントブレーキマスターシリンダー及びハイスロットルセットを取り付けて下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ソケットキャップスクリュー

(フロントブレーキマスターシリンダー取り付け用)

: 10 ~ 14 N・m

(1.0 ~ 1.4 kgf・m)

パンスクリュー

(ハイスロットルセット取り付け用)

: 4 N・m (0.4 kgf・m)



パンスクリュー

ソケットキャップスクリュー

7. フロントブレーキキャリアASSY.をディスクローターに取り付けます。



8. フロントブレーキキャリアASSY.をフラットヘッドキャップスクリュー(8×16)でキャリアブラケットに取り付け、締め付けます。

ボルトのねじ部分にネジロック剤を塗布して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)



9. フロントフォークの凸部にキャリアブラケットの凹部を合わせ、フロントホイール、スピードメーターギアBOX、カラーの順で取り付け、アクスルシャフトを通し、アクスルナットを規定トルクで締め付け、固定して下さい。

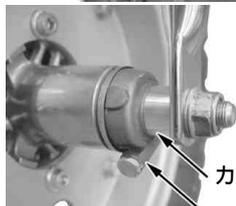
この時、スピードメーターギアBOXの凸部とフロントホイールハブCOMP.の凹部を合わせて取り付けして下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

アクスルナット

: 40 ~ 50 N・m

(4.0 ~ 5.0 kgf・m)



スピードメーターギアBOX

カラー

10. ホイールとハブを固定するフランジキャップスクリューを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)



11. 別売りステンレスメッシュホースをフロントブレーキキャリアASSY.まで取り直し、曲がっているバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトにてフロントブレーキキャリアASSY.に取り付け、固定して下さい。

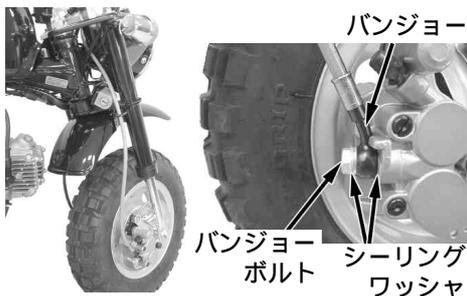
△注意：シーリング部に異物を挟まないよう注意して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト

: 13 ~ 15 N・m

(1.3 ~ 1.5 kgf・m)



バンジョー

バンジョーボルト

シーリングワッシャ

12. リバウンドしてもメッシュホースが突っ張らない様に、フロントブレーキマスターシリンダーまで取り回して下さい。

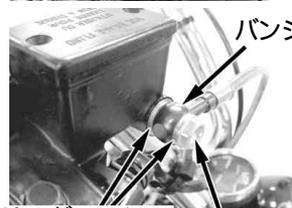
13. フロントブレーキマスターシリンダーにメッシュホースのバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトにて取り付け、固定して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト

: 13 ~ 15 N・m

(1.3 ~ 1.5 kgf・m)



バンジョー

14. 他の部分とブレーキホースが干渉しない様タイラップで固定し、余ったタイラップはニッパー等で切り取ります。

△注意：パウンド、リバウンド部にホースが突っ張らない様に固定して下さい。

15. フロントブレーキマスターシリンダーのストップスイッチサブハーネス及び、スピードメーターケーブルを接続して下さい。

16. 各部のボルト及びビスクリューをもう一度規定トルクにて増し締めして下さい。

△注意：規定トルクを必ず守って下さい。

17. フロントブレーキマスターシリンダーよりブレーキフルードを注入し、エア抜きを行って下さい。

ブレーキのエア抜き容量は、別紙を参考にして下さい。

## ~ 純正スロットルハウジングの取り付け ~

1. 下側スロットルハウジングには、突起があります。取り付ける場合は突起部分を削り取るか、ハンドルパイプに穴を開けて下さい。

2. スロットルを取り付けます。グリップCOMP.、スロットルケーブルCOMP.は純正品を使用します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL <http://www.takegawa.co.jp>

# ブレーキのエア抜き要領

## ⚠ 注意

- ブレーキフルード補充時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。
- ブレーキフルードは付属のものを使用する事。DOT4 (BF-4)
- 抜き取ったブレーキフルードは再使用しない事。
- ブレーキフルードは塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
- ブレーキホースの取り外しの際など油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- 規定トルクは必ず守る事。

## ⚠ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。  
万一、付着した場合はパッドを交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. の2本のフラットパンスクリューを取り外し、マスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを取り外す。



- ・ブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。



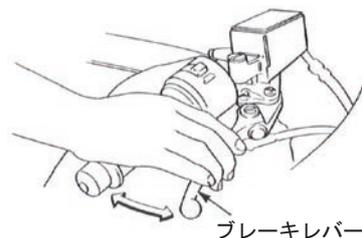
- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. のカップ内にブレーキフルードを上限線まで補充する。



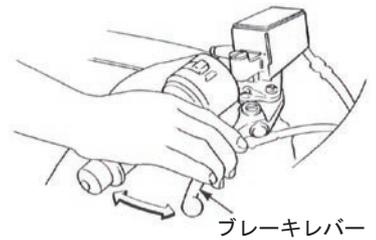
- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
- ⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。

- ・ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの作業を繰り返す。

- ※オイルカップのブレーキフルード量に注意し新しいブレーキフルードを補充しながら作業を行う。



- ・ブレーキレバーを握ったままブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付ける (①)。  
※ブリーダーバルブを緩めた状態でブレーキレバーを戻さない事。
- ・ブレーキレバーをゆっくりと戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する (②)。



ブレーキレバー



- ・①、②の操作をブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで繰り返す。  
※カップ内のブレーキフルードの量を確認しながら作業を行い、下限線付近まで減少していれば補充する。

- ・ブリーダーバルブから出てくるブレーキフルードにエアの混入が無くなればブリーダーバルブを規定トルクで締め付ける。



- ⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。  
ブリーダーバルブ  
トルク：5.9N・m (0.6kgf・m)

- ・オイルカップの上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリュー2本を用いて取り付け。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。